

2学年ふるさと楽行『沼山・入間楽行』

1 ねらい

- ・様々な活動を通し、友達との関わりを深めたり、地域の方々と進んでふれ合い交流したりしようとする。
- ・地域の生き物を探し、捕まえ、観察する活動を通し、それらの育つ場所に関心をもち、生き物への親しみをもち。
- ・地域の環境に合わせた生き物がいることやそれを大切にしている人々がいることが分かる。

2 日 時 令和5年6月12日（月）

3 内 容

- （1）沼山楽行 ①大沼散策 ②べっき沼での学習 ③沼山の歴史等のお話
（2）入間楽行 ①高取川で水生生物採集 ②高取川周辺の植物観察

2年生は水生生物や植物などを観察するために、沼山・入間楽行に行ってきました。ほとんど一般の人が足を踏み入れないところは、水生生物の宝庫です。べっき沼でヌマエビ、トノサマガエル、赤はらいモリ、おたまじゃくし、メダカ、アブラハヤ、タニシなどの珍しい生き物を見つけられました。生き物の大先生に聞いて、学校で飼育して大丈夫なものを教えてもらい、学校に持ち帰りました。学校に帰ってからは、その特徴や育て方について学習し、今でも元気に育っています。最後の沼山地区に伝わる龍神伝説についても、地元のお婆さんから聞くことができました。水と共に生活し、水を大切にしている地区の皆さんの思いを知ることができました。

午後からは入間地区に移動して、高取川周辺の生き物や植物について学習しました。入間地区は自然を大切にする活動を区民一体となって取り組んでいる地域です。特に区内の真ん中を流れる川、高取川を守るため、ほたるの里づくりに一生懸命です。その取組についてお話を聞いたり実際に高取川周辺の観察をしたりしました。

田んぼの用水路はコンクリートで整備されていましたが、その横に自然の水路を作って生物のすみかを守る取組み、できるだけ農薬をまかないで稲を育てる取組み。効率という点で、米作りをするには手間がかかることになってしまいますが、みんな地元の自然を守りたいという思いでがんばっているそうです。今回の楽行で、子ども達は、こんな感想を寄せていました。

- ・いろんな生き物を見つけました。カエルや赤はらいモリやタニシなどいっぱいつかまえました。みんなで協力して楽しくつかまえることができてよかったです。
- ・入間に行きました。区長さんのお話を聞いた後、ホタルがいるところを教えてもらいました。もうすぐホタルのきせつです。見るのが楽しみです。

